

福井工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	建築計画 I	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	改訂版「図説やさしい建築計画」学芸出版社 深水 浩著						
担当教員	大和 裕也						
到達目標							
1. 建築物の成り立ちと自然環境、地理的環境との関連性が理解できること。 2. 建築計画により、建築物で必要とされる寸法に関する基礎知識を習得すること。 3. 利便性や快適性、安全性といったものづくりにおける基本的な概念を理解・修得すること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		気候風土に即した建築の成り立ちと建築の発生について関連付けて説明ができる		建築物と自然・地理的環境との関連が説明できる		建築物と自然・地理的環境との関連を理解できない	
評価項目2		建築物に確保すべき安全性を定量的に説明できる		建築物の安全性について説明できる		建築物に確保すべき安全性を理解できない	
評価項目3		建築物に確保すべき機能性を定量的に説明できる		建築物の機能性について説明できる		建築物に確保すべき機能性を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RB2							
教育方法等							
概要		建築設計の基本である建築の成り立ち、建築物の計画方法を学ぶとともに、建築物に関する規制についての基礎知識を習得する。特に木造2階建住宅の設計に必要な知識を重点的に習得する。					
授業の進め方・方法		建築物に関する専門知識を修得するために、座学による実物の写真および図面などを用いて説明する。					
注意点		各回の授業で説明した内容を確実に覚えるために、課題の提出を課す。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス 建築士の職責，建築設計の手法など			建築の企画・計画・設計を理解する	
		2週	独立住宅（その1）			住宅計画の基本と住宅の構成要素を理解する	
		3週	独立住宅（その2）			住宅の種類と住宅に関する用語を理解する	
		4週	低層集合住宅			接地型と非接地型の集合住宅を理解する	
		5週	集合住宅の配置計画			通路形式による集合住宅の分類を理解する	
		6週	集合住宅の各部計画			住宅の各種寸法と専門用語を理解する	
		7週	小学校の計画①			小学校の構成、授業運営方式を理解する	
	2ndQ	8週	中間試験				
		9週	小学校の計画②			小学校の配置計画の要点、寸法計画を理解する	
		10週	幼稚園・保育所の計画			幼稚園・保育園の保育形態、配置計画、平面計画を理解する	
		11週	図書館の計画①			図書館の構成、必要諸室を理解する	
		12週	図書館の計画②			図書館の閲覧室の所要面積、図書の収蔵能力の算定について理解する	
		13週	美術館の計画①			美術館の構成、必要諸室を理解する	
		14週	美術館の計画②			美術館の巡回形式、採光・照明計画を理解する	
		15週	劇場、事務所の計画			劇場の舞台形式、舞台構成要素を理解する	
		16週				事務所の基本的な計画を理解する	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題		ディスカッション中の発言 やグループワークを含む講義中の学習活動		合計	
総合評価割合	100	0		0		100	
基礎的能力	50	0		0		50	
専門的能力	50	0		0		50	